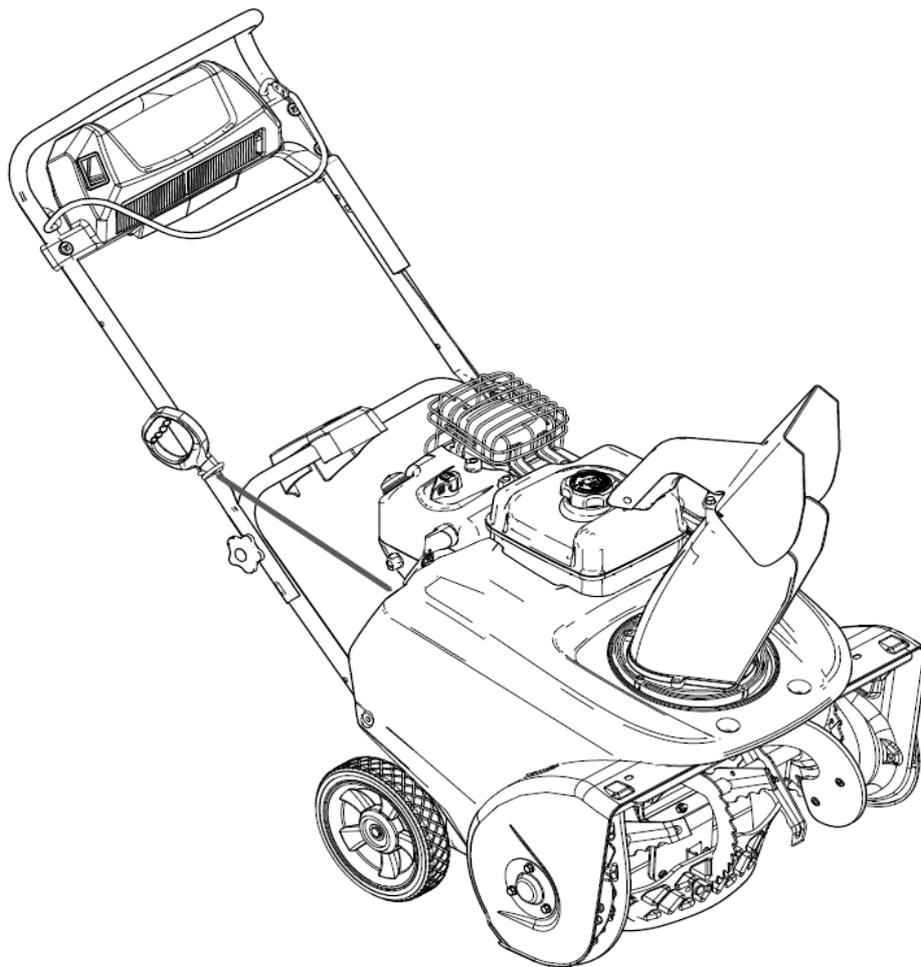




シングルステージ除雪機 1222EE / 922E

取扱説明書



安全な操作

目次

安全な操作・・・・・・・・・・・・・2

各部の名称とコントロール・・・・・・・・・・・・・8

運転・・・・・・・・・・・・・9

メンテナンス・・・・・・・・・・・・・14

保管・・・・・・・・・・・・・16

トラブルシューティング・・・・・・・・・・・・・17

エミッションワランティ・・・・・・・・・・・・・19

仕様・・・・・・・・・・・・・20

安全警告シンボルとシグナルワード **▲** フード
 この安全シンボルマーク **▲** は人身負傷事故を起こし得る危険についての安全情報を示すものです。シグナルワード（危険、警告、または注意）は安全シンボルマークと共に使われ、重度の負傷が起こり得る可能性と確率を示します。
 付け加えて、警告シンボルは危険の種類を示すのにも使われます。

- ▲** 危険 避けられなかった場合、死亡事故や重度の負傷事故が起こる危険を示します。
- ▲** 警告 避けられなかった場合、死亡事故や重度の負傷が起こるかもしれない危険を示します。
- ▲** 注意 避けられなかった場合、中度や軽度の負傷事故が起こる危険を示します。

※追記 負傷をもたらさないが、作業機への

	取扱説明書を参照してください。
	修理等を行う際には鍵を取り外してから行ってください。
	一酸化炭素中毒の危険
	火災の危険。
	爆発の危険
	キックバック（跳ね返り）の危険

	表面の高温による危険
	防護メガネを装着
	飛散物の危険

	切断事故の危険-インペラの回転
	切断事故の危険-インペラの回転
	切断事故の危険-オーガの回転
	巻き込み事故の危険-回転部品
	電気ショックの危険
	安全な距離を保ってください
	子供たちを遠ざけてください

▲ 警告
この製品とその関連したアクセサリの特定の構成要素は、ガン、先天性欠損症または他の生殖有害事象を引き起こす化学製品を含みません。取扱の後、手を洗ってください。

▲ 警告
この製品からのエンジン排気は、ガンや先天性欠損症または他の生殖有害事象を引き起こす化学製品を含みます。

安全な操作

 **警告**

除雪機における事故の最も一般的な原因は排出シュート内部の回転するインペラーと手の接触です。

この除雪機は運転中手および足を切断する可能性があります。本取扱説明書に従い、安全手順を遵守してください。これらの安全指示を遵守しなければ死または重症となる場合があります。

 **警告**



除雪機を操作する前にこの取扱説明書ですべての指示を読んで、理解し、従ってください。この説明書に記載の安全な指示事項を守らないと、死または重症となる場合があります。

- これらの取扱説明書は確実に保管してください。
- 除雪機の操作および適切な使用を方法確実に理解してください。
- 除雪機を操作する前に正しく訓練されていることを確認してください。
- 素早く除雪機の停止、接続を切ることでできることが素早く出来るように確認してください。
- 除雪機の操作方法を理解していない人は絶対に操作しないでください。
- 除雪機を長期保管する場合は取扱説明書の指示事項に従ってください。
- セーフティラベルおよび指示ラベルは必要に応じてメンテナンス、交換を行ってください。
- 除雪機を大掛かりな修理をするには十分に訓練され、経験された作業者が行ってください。除雪機の改造は危険な事故や製品の損傷と、製品保証が無効になることとなります。

 **危険**



排出シュートは投雪するために回転するインペラーが装備されています。決して手などで排出シュートの詰まりを除去しないでください。指などは容易に巻き込まれてしまうことがあります。詰まった雪などを除去するには除雪用の工具を使用してください。

これらの安全に関する指示に従わない場合、外傷

 **危険**



回転部分から手、足、衣服から離してください。回転部分は、手、足、髪、衣服、または付属品と接触すると巻き込まれることがあります。



これらの安全性に関する指示に従わない場合、外傷性切断または重度の裂傷になります。

- 除雪機を修理、点検、清掃を行う際には必ず点火プラグより点火プラグコードを取り外し、すべての可動部分が停止していることを確認してください。
- 回転部分の近くや下に手や足を入れしないで下さい。また、排出シュートやオーガー部分は常に何も無いようにしてください。
- 除雪機を操作する際には、カバーなどの防護部品や安全装置が働かない状態で使用は絶対にしないで下さい。
- 除雪機を運転中、必ず作業者は除雪機から離れないで下さい。また、除雪機から離れる場合は必ずオーガーや走行装置などの接続を解除し、鍵を取り外してください。
- 除雪機の前面やオーガーからゆったりとした衣服などは離してください。スカーフなどのゆったりとした装身具は容易に回転部品に巻き込まれる恐れがあります。また長い髪などは縛る等して作業をしてください。
- 除雪機を使用した後は数分すべての雪が排出するまでインペラやコレクタの凍結防止の為運転してください。
- 除雪機を使用中または輸送中以外の時は、コレクタ/インペラの動力接続は切ってください。

 **警告**



雪などの物体はオーガーにより除雪機内に取り込まれ排出シュートより排出されます。除雪機より排出される雪を周りの人などに向かって決して排出しないで下さい。これらの安全な指示事項を守らないと、死または重症となる場合があります。

- 雪などの物体はオーガーにより除雪機内に取り込まれ排出シュートより排出されます。除雪機より排出される雪を周りの人などに向かって決して排出しないで下さい。これらの安全な指示事項を遵守してください。
- 除雪機を運転している間は、雪が排出される向きを絶えず注意してください。歩行者、ペット、その他排出された雪が接触することで破損等が発生する可能性があります。
- 除雪機を運転している間は、周りの環境に絶えず注意してください。除雪機を砂利や玄関マット、新聞、玩具、岩などの上で運転しないで下さい。
- 砂利道や歩道、道路を横切る際には最大限の注意を払ってください。
- 砂利や碎石などの上を除雪作業を行う際には、コレクタハウジングの高さを適切な位置に調整してください。
- ガラス製品の近く、自動車の近くなどでは適切に排出シュートを調整しないで除雪機を運転させないで下さい。
- 除雪機を操作するときには、除雪作業を行う作業スペースをしっかりと把握してください。歩道や車道などの協会は事前に目印などを付けてください。全な指示事項を守らないと、死または重症となる場合があります。

安全な操作

 警告	
	<p>除雪機を運転している間は子供が周りにいないか常に注意を払ってください。 除雪機や運転している状態は子供達の興味をひきます。 子供たちは常に同じ場所にはいないので絶えず注意を払ってください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 除雪機を使用するエリアから子供達がいないことを確認してください。 子供たちは除雪機に興味を持ちます。周りにすべての人がいないことを確認してください。 子供などが作業エリアに入ってきた場合は、警告を与えとともに除雪機を停止してください。 子供たちには絶対に除雪機を運転させないで下さい。 除雪機を操作しているときに見えにくいカーブや木の茂み、木、その他視界を妨げる状況の時にはさらなる注意を払ってください。 	

 警告	
	<p>エンジンから排出される一酸化炭素（無色、無臭の毒ガス）が含まれます。一酸化炭素を吸引すると吐き気、脱力感となり死を引き起こすことがあります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> エンジンは必ず屋外で始動および運転を行ってください。 エンジンはたとえ窓やドアが開いていたとしても屋内で運転 	

 警告	
	<p>燃料とその蒸気は、可燃性が高く爆発性が高いです。常に最大限の注意を払って燃料を取り扱ってください。 これらの安全指示を守らない場合は、火災または爆発を起こすことがあり、ひどい火傷または死に</p>
<p>燃料の補給時は</p> <ul style="list-style-type: none"> エンジンを停止し最低2分間は冷却してから燃料キャップを取り外し燃料を補給してください。 燃料を補給する場合は換気の良い場所か屋外で行ってください。 燃料を燃料タンクに入れすぎないで下さい。ガソリンは熱により膨張します。燃料タンクの首部の根元以上は燃料を入れないで下さい。 	

- 燃料から火花、裸火、パイロットランプ、高温部分、その他点火源から離してください。
- 燃料ホース、燃料キャップ、その他接続部に割れや燃料漏れがないことを確認してください。もし必要があれば交換してください。
- 認証された燃料保管用容器を使用してください。

エンジン始動時は

- 点火プラグ、マフラー、燃料キャップ、エアクリーナー（装備されている場合）が正しく取り付けられているか確認してください。
- スパークプラグがエンジンから取り外されている状態でエンジンをクランクしないで下さい。
- 燃料がこぼれていれば、燃料蒸気が消えるまでエンジンを始動させないか、こぼれた周辺から除雪機を遠ざけて、スパークさせないで下さい。
- エンジンのプライマバルブを過度に押さないで下さい。取扱説明書に記載されている指示事項を参照してください。
- エンジンがオーバーチョークの状態であれば、エンジンが始動するまでチョーク（装備されていれば）をOPEN/RUN位置にセットして、スロットル（装備されていれば）をFAST位置に動かして始動してください。

除雪機稼働時は

- 燃料がこぼれる角度まで除雪機を傾けないで下さい。
- エンジンを停止させるためにチョークを使用しないで下さい。
- エアクリーナーまたはエアフィルターが装備されている場合は、取り外してエンジンを決して運転しないで下さい。

オイル交換時は

- もしオイル注油口からオイルを抜く場合には、燃料タンクが空の状態で行ってください。燃料が残っていると燃料がこぼれて火災や爆発の危険があります。

除雪機の搬送時は

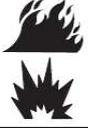
- 除雪機を搬送するときは燃料を空にするか、燃料シャットオフバルブをOFF位置にしてください。

除雪機に燃料を入れた状態で保管する場合は

- ストーブや給湯器、その他パイロットランプや点火源となるものから遠ざけて保管してください。それらを点火源に燃料の蒸気が点火することがあります。

安全な操作

 警告	
	除雪機の安全な運転にはエンジンの適切なメンテナンスと取扱が必要です。
<ul style="list-style-type: none"> エンジンを始動する前に全てのクラッチを全てニュートラス位置にしてください。 除雪作業を開始する前にエンジンを調整は屋外の温度で調節してください。 外部式ACスターティングモーターを装備している除雪機は、アース線を設置した3線式プラグを使用してください。 	

 警告	
	エンジンを始動するとスパーク（火花）を引き起こします。スパークは近くの可燃性期待に点火することがあります。火災や爆発事故が発生する危険性があります。
<ul style="list-style-type: none"> もし周辺に天然ガスやL Pガスが漏れていればエンジンは始動させないで下さい。 ごく低温時始動用「プレッシャライズ燃料」は上記が可燃性であるので使用しないで下さい。 	

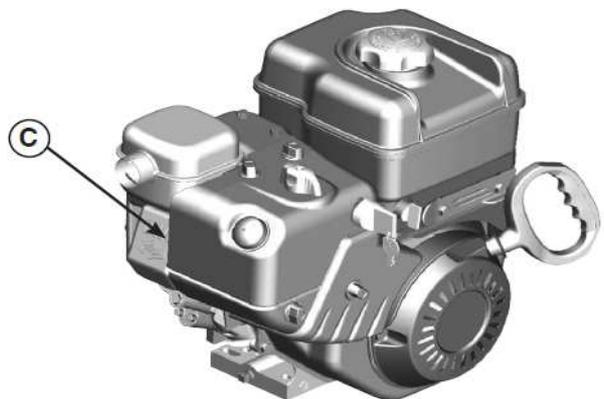
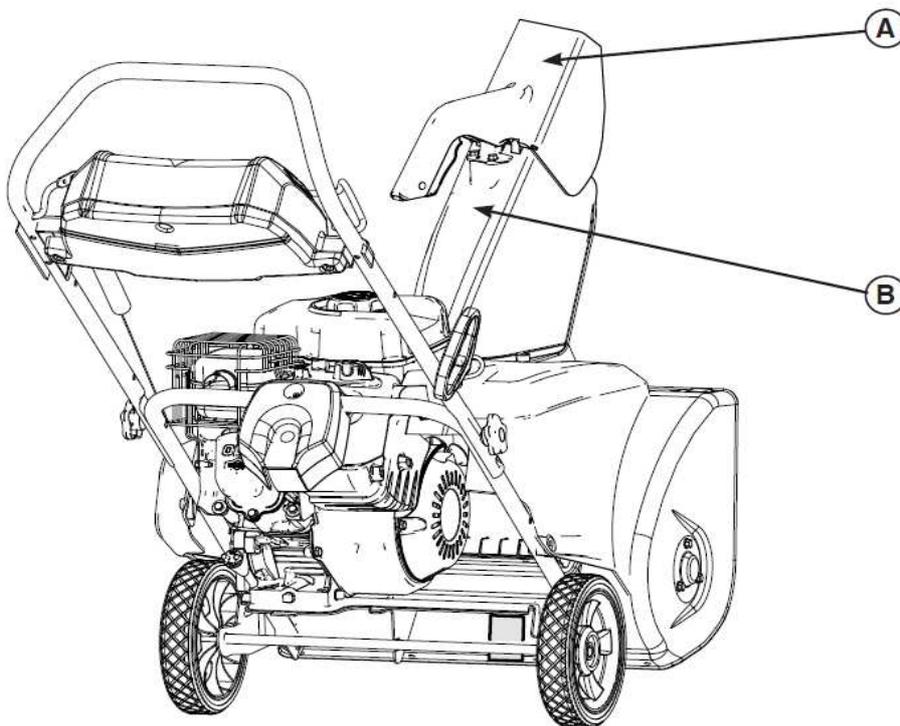
 警告	
	エンジンは運転中高温になります。特にマフラーは非常に高温になります。これらの安全な指示を守らなければマフラーなどに接触しやけどなどの恐れがあります。
<ul style="list-style-type: none"> 高温になったエンジンまたはマフラーには決して触れないで下さい。マフラー、エンジンシリンダ、シリンダフィンに触れる前に十分に冷却してください。 マフラー周辺とシリンダ周辺からごみを除去してください。 森の中、草原、雑草でおおわれた未改良の土地で除雪機を運転する場合には、スパークアレスタを取り付けて火の粉が飛び散らないようにしてください。 カリフォルニア州の法律では上記のような場所ではスパークアレスタを取り付けられなければならない規定があり、他の地域でも同様な規制があります。 	

 警告	
	この除雪機は、安全な操作とパフォーマンスを維持するために、適切なメンテナンスがされなければなりません。この取扱説明書に記載されている安全に対する指示事項を守らないと死または重症となることがあります。
<ul style="list-style-type: none"> 除雪機をメンテナンスや修理を行う際にはエンジンを停止し、点火プラグワイヤーを点火プラグより取り外し、点火プラグより遠ざけることで事故を防止することができます。 除雪機を安全に稼働させるために、頻繁にシャーボルトやその他ボルト類が緩んでいないか確認してください。 除雪機を良い状態に維持するためにボルトやナット類が緩んでいないか確認してください。 安全装置を決して改造しないで下さい。これらが正しく作動しているか確認し、もし適切に作動していない場合は修理を行ってください。 除雪機が摩耗や損耗、破損していないか頻繁に確認してください。もし必要であれば純正部品を使用し修理もしくは交換を行ってください。 除雪機のコントロール装置が正しく作動しているか頻繁に確認してください。もし必要があれば修理調整を行ってください。 修理の際には純正部品だけを使用してください。 除雪機を調整修理を行う際には工場出荷時の状態に従ってください。 アクセサリ（ホイールウェイト、カウンターウェイト等）はブリグス&ストラットン純正品もしくは承認されたものを使用してください。 エンジンが運転中は決して調整等の作業特別な指示が無い限りは行わないで下さい。 	

安全な操作

 警告	
	<p>本除雪機は正しくメンテナンスを行い、適切に使用すれば安全に使用して頂けます。あなたの安全には周囲の人の安全の責任も含まれます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 作業を行う場所からすべての人、小さな子供やペットなどがいないことを確認してください。 • 作業を行う場所にドアマットや板、ワイヤ等が無いが確認してください。 • 十部負な防寒着を着用して除雪機を操作してください。 • すべりやすい路面で作業するときには適切な履物を使用してください。 • すべりやすい路面でバックをするときには特に注意してください。 • 作業する場所が明るくなく視野が確保できない場合は使用しないで下さい。 • 斜面での除雪はしないで下さい。やむを得ず斜面で方向を変えるときは、最大の注意を払ってください。また、急な斜面の除雪はしないで下さい。 • 除雪機の能力を超えるスピードで作業しないで下さい。オーバーロードの状況になります。 • 除雪機を運搬用の速い速度ですべりやすい路面上では使用しないで下さい。また、除雪機の背面に注意し後進する際には特に注意してください。 • 除雪機は住居、ガレージ、ポーチ、屋根など建物の上などで除雪機を使用しないで下さい。 • 除雪機を安全に使用するために作業員自身が十分理解しなければなりません。これは作業員、周囲の人々などの安全を確保するためです。 • 除雪機は除雪専用で使用してください。その他の目的のために使用しないで下さい。 • 除雪機に誰も乗せないで下さい。 • もし除雪機を何かに衝突させた場合はエンジンを速やかに停止させ、電動スターターモーター用電源コードを取り外して除雪機に破損が無いが確認をさせてください。破損が無いことを確認もしくは修理が完了するまで除雪機を再始動させないで下さい。 • もし除雪機に異常な振動が感じられた場合は速やかにエンジンを停止させてください。異常な振動は故障の典型的な警告です。認証された販売店に点検を依頼し、必要があれば修理を行ってください。 • 電動スターターを装備している製品では電源コードをエンジン始動後に取り外してください。 	
 警告	
	<p>破損した電気コードや純正品ではない電気コードを使用すると電気ショックによる事故の原因となります。電気ショックにより重度の火傷や死にいたることがあります。</p>
<p>電動スターターを使用する際は</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電源コードは常に正しくアースしてください。 • 3線式の正しくグラウンドされた電源を使用してください。 • 延長コードがもし破損した場合は危険を避けるため有資格者が交換する必要があります。 	
 警告	
	<p>スターターコードが急速にエンジンに引き込まれる現象（キックバック）は、あなたが手を放すより早く手や腕をエンジンへ引き込みます。</p> <p>これにより骨折、あざまたは捻挫を起こすことがあ</p>
<p>エンジンを始動する際は</p> <ul style="list-style-type: none"> • スターターコードを抵抗が感じられるまでゆっくりと引いてください。そしてキックバックを避けるために、素早く引いてください。 	

安全な操作



セーフティデカール

除雪機を運転する前に張り付けられているセーフティデカールを読んで理解してください。

これらのセーフティデカールはオペレーターが除雪機を操作するうえで怪我や除雪機の破損を防ぐために張り付けられています。

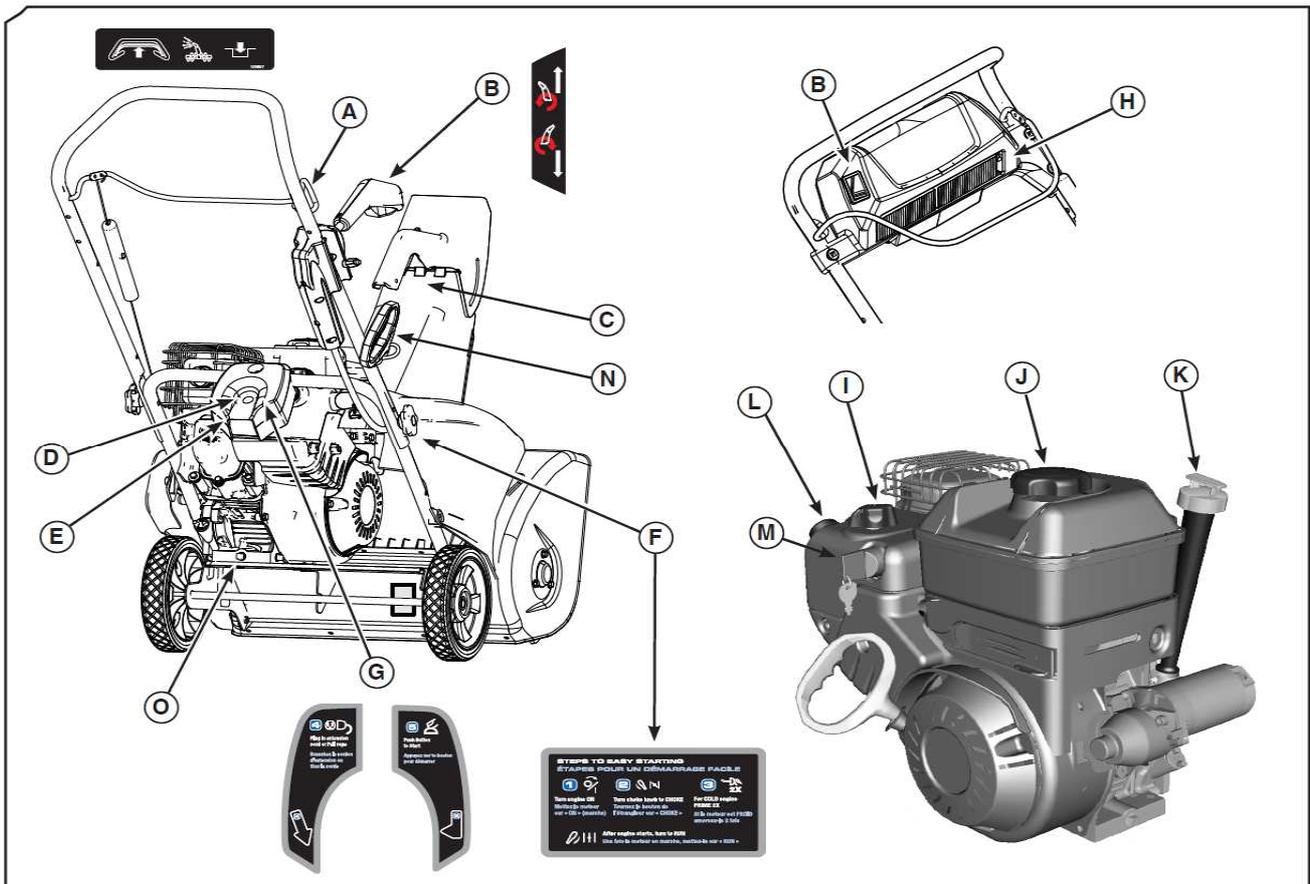
もしこれらのセーフティデカールが破損もしくは読めなくなっている場合は、認証されたサービスディーラーで注文して頂き交換してください。

A-部品番号 1737865 シュートデンジャーデカール

B-部品番号 1739966 オーガーデンジャーデカール

C-部品番号 279655 エンジンワーニングデカール

各部の名称とコントロール



除雪機とエンジンコントロール

- A - オーガーコントロール
- B - シュートコントロールスイッチマウント (オプション)
シュートコントロールハンドルマウント (オプション)
- C - デфлекターコントロールトリガー
- D - スターター作動ボタン
- E - スターターコード接続端子
- F - スタート指示デカール (オプション)
- G - スタート指示デカール (オプション)
- H - ヘッドライト (オプション)
- I - チョークコントロール
- J - 燃料タンク、燃料キャップ
- K - エンジンオイル給油口/ディップスティック
- L - プライマーボタン
- M - ON/OFF もしくは プッシュブルキー
- O - オイルドレンプラグ

コントロールシンボルとその意味

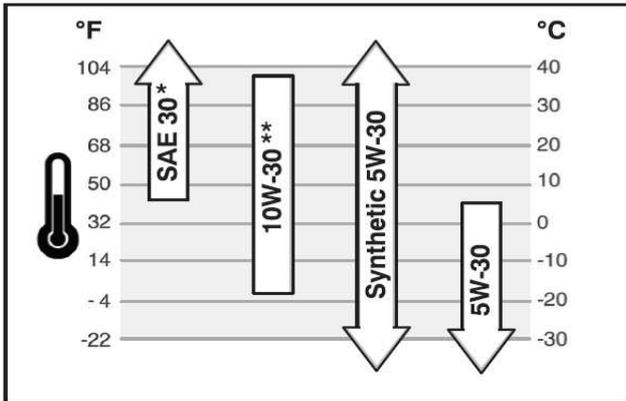
	ON/OFF スイッチ
	チョーク閉/チョーク開
	プライマースイッチ2回押す
	延長コード差し込み
	エンジン始動スイッチ
	オーガーコントロールON
	シュート旋回コントロール

運転

推奨されるオイル

注意：本エンジンは工場よりエンジンオイルが入っていない状態で出荷されています。エンジンを始動する前に本取扱説明書の指示にしたがって、確実にオイルを入れてください。もしエンジンオイルを入れずに運転すると修理ができないほどの破損が発生します。また、この破損は保証範囲外となります。

エンジンオイルはSG以上のグレードで高品質なオイルを使用してください。化学合成油5W-30は全ての温度で使用できます。エンジンオイルはガソリンと絶対に混ぜないで下さい。下記の推奨される



※ 気温4℃以下でSAE 30のオイルを使用すると始動が難しくなることがあります。

※※ 気温27℃以上で10W-30のオイルを使用するとオイル消費が多くなります。エンジンオイルレベルの確認を頻繁に行ってください。

給油/オイルレベルの確認

- 1、除雪機が水平になっているか確認してください。
- 2、エンジンオイルティップスティック周辺のごみを除去してください。
- 3、エンジンオイル量を仕様一覧から確認してください。
- 4、エンジンオイルティップスティック (A) を取り外し清潔な布等できれいに拭いてください。
- 5、エンジンオイル給油口 (B) からゆっくりとオイルを給油してください。
- 6、給油後1分待ってからエンジンオイルティップスティックを挿入し時計方向に回してしっかりと締めてください。
- 7、エンジンオイルティップスティックを抜き取り、エンジンオイル量を確認してください。
- 8、必要であればエンジンオイル量のFULL位置 (C) まで追加してください。エンジンオイルの入れ過ぎに注意してください。
- 9、エンジンオイルティップスティックを給油口に差し込み、しっかりと締めてください。

また、確実に締まっていることを確認してください。

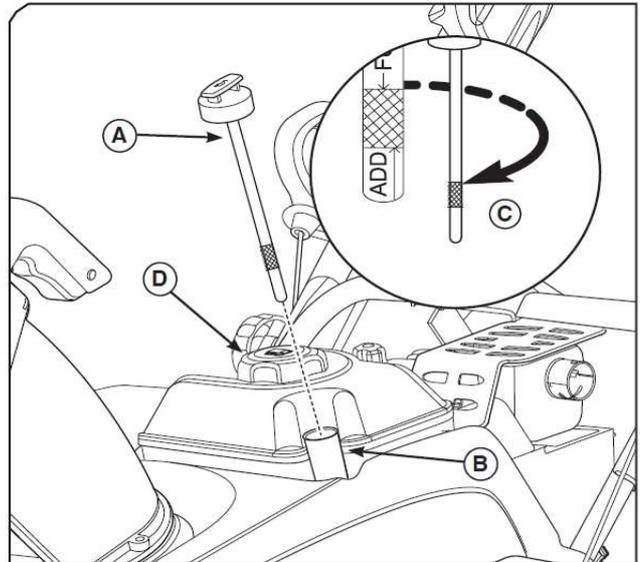


Figure 1

推奨される燃料

燃料は下記の項目に適合しているものを使用してください。

- きれいで新しい無鉛ガソリン
- オクタン価87以上のガソリン
高地での使用は下記を参照ください。
- 最大10%までのエタノール混入ガソリン

注意：E15やE85などの承認されていないガソリンは使用しないで下さい。オイルが混ざっているガソリンや燃料に添加剤などは使用しないで下さい。承認されていない燃料を使用するとエンジンを破損させる原因となります。また、承認されていない燃料を使用するの破損は保証の対象になりません。

燃料の劣化によるガム質の形成を抑えるため、燃料劣化防止剤を使用してください。保管の項を参照してください。すべての燃料は同じではありません。もし始動不良や性能に問題が発生した場合は、燃料のブランドを変えてください。本エンジンはガソリンで動作します。本エンジンの排気ガスコントロールはEM (Engine Modifications) です。

高地での使用

高度1524m (5,000フィート) 以上で使用する場合はオクタン価85以上の燃料を使用してください。高地用の調整を行わずに高地で使用するすると性能の低下、燃料消費量の増加、排気ガスの増大の原因となります。ブリッグス&ストラットン正規販売店へ高地用調整についてお問い合わせください。

高度762m (2,500フィート) 以下での使用では高地用調整は必要ありません。

運転

燃料の補給

 警告	
	燃料とその蒸気は、可燃性が高く爆発性が高いです。常に最大限の注意を払って燃料を取り扱ってください。 これらの安全指示を守らない場合は、火災または爆発を起こすことがあり、ひどい火傷または死に
燃料の補給時は	
<ul style="list-style-type: none"> エンジンを停止し最低2分間は冷却してから燃料キャップを取り外し燃料を補給してください。 燃料を補給する場合は換気の良い場所か屋外で行ってください。 燃料を燃料タンクに入れすぎないで下さい。ガソリンは熱により膨張します。燃料タンクの首部の根元以上は燃料を入れしないで下さい。 燃料から、火花、炎、パイロットランプ、高温部、その他点火源より離してください。 燃料がこぼれた場合は、燃料がすべて蒸発するまで待ってからエンジンを始動させてください。 	

1. 燃料キャップ周辺からごみや汚れを取り除いてから、燃料キャップを取り外してください。(Fig 1 D)
2. 燃料を燃料タンクに入れすぎないで下さい。ガソリンは熱により膨張します。燃料タンクの首部の根元以上は燃料を入れしないで下さい。
3. 燃料キャップを取り付けてください。

エンジンの始動

 警告	
	燃料とその蒸気は、可燃性が高く爆発性が高いです。常に最大限の注意を払って燃料を取り扱ってください。 これらの安全指示を守らない場合は、火災または爆発を起こすことがあり、ひどい火傷または死に
エンジンを始動させる際は	
<ul style="list-style-type: none"> 点火プラグ、マフラー、燃料キャップ、エアクリナー（装備されている場合）が正しく装着されているか確認してください。 点火プラグを外した状態でクランキングしないで下さい。 燃料がこぼれていれば、燃料蒸気が消えるまでエンジンを始動させないか、こぼれた周辺から除雪機を遠ざけて、スパークさせないで下さい。 エンジンのプライマバルブを過度に押さないで下さい。取扱説明書に記載されている指示事項を参照してください。 エンジンがオーバーチョークの状態であれば、エンジンが始動するまでチョーク（装備されていれば）をOPEN/RUN位置にセットして、スロットル（装備されていれば）をFAST位置に動かして始動してください。 	

 警告	
	破損した電気コードや純品ではない電気コードを使用すると電気ショックによる事故の原因となります。電気ショックにより重度の火傷や死にいたることがあります。
電動スターターを使用する際は	
<ul style="list-style-type: none"> 電源コードは常に正しくアースしてください。 3線式の正しくグラウンドされた電源を使用してください。 延長コードがもし破損した場合は危険を避けるため有資格者が交換する必要があります。 	

注：電動スターターは3芯電源コード用に設計されており、一般的な家庭用電源で動作します。
正しくアース接続ができない場合には、電動スターターを使用しないでください。アースが正しく接続するには、電気技術士へ問い合わせてください。

 警告	
	エンジンから排出される一酸化炭素（無色、無臭の毒ガス）が含まれます。一酸化炭素を吸引すると吐き気、脱力感となり死を引き起こすことがあります。
<ul style="list-style-type: none"> エンジンは必ず屋外で始動および運転を行ってください。 エンジンはたとえ窓やドアが開いていたとしても屋内で運転 or 	

 警告	
	スターターコードが急速にエンジンに引き込まれる現象（キックバック）は、あなたが手を放すより早く手や腕をエンジンへ引き込みます。 これにより骨折、あざまたは捻挫を起こすことがあります。
エンジンを始動する際は	
<ul style="list-style-type: none"> スターターコードを抵抗が感じられるまでゆっくりと引いてください。そしてキックバックを避けるために、素早く引いてください。 	

1. オイル量を確認してください。
(給油/オイルレベルの確認項を参照ください。)
2. オーガーコントロールが接続されていないこと確認してください。
3. ON/OFFキーを (Fig2 : A) 挿入し、ON位置に回してください。もしくは、装備されている場合はプッシュプルキーを挿入してください。

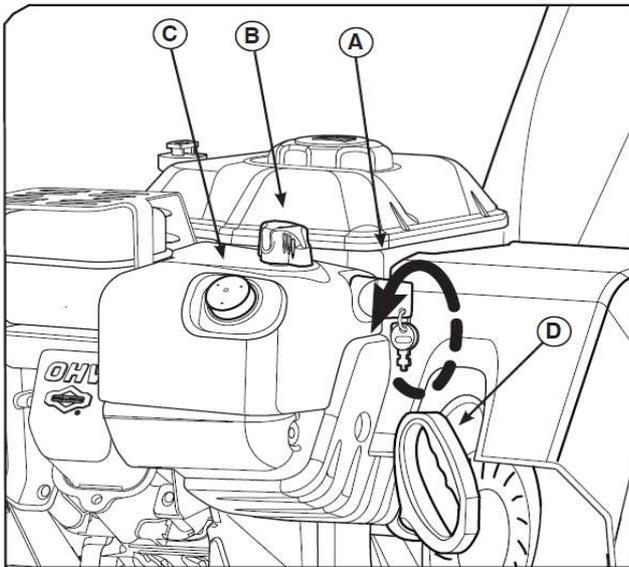


Figure 2

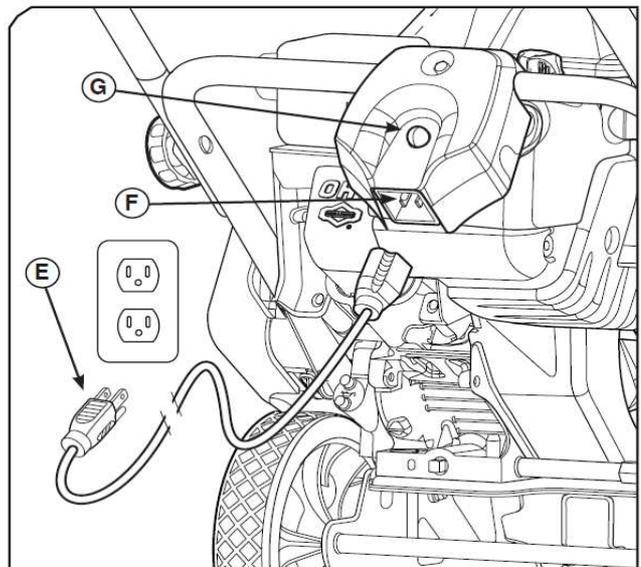


Figure 3

- 4、チョークコントロール (B) を閉位置に回してください。
注：エンジンが温まっているときはチョークコントロールを閉位置にしないでください。
- 5、プライマーボタン (C) を2回押してください。
注：エンジンが温まっているときはプライマーボタンを使用しないで下さい。
- 6、リwindスタート：しっかりとスターターロープ (D) を握ってください。スターターロープをゆっくりと引き、抵抗を感じたら勢いよく引いてください。
- 7、電動スタート：電源コード (Fig3: E) を除雪機の端子 (F) に接続し、家庭用コンセントに接続してください。もし延長コードを使用するときは3新電源コードを使用してください。
- 8、電動スタート：スターターボタン (G) を押してください。エンジンが始動したら、家庭用コンセント側から接続を外してください。その後除雪機の端子から電源コードを外してください。
注：スターターモーターを長持ちさせるために、最大5秒以内で使用してください。再度使用する際には1分程度間隔をあけて使用してください。
- 9、エンジンが温まったらチョークコントロール (Fig2: B) を開位置にしてください。
注：もしエンジンを3度始動を試みて始動しない場合はトラブルシューティング項を参照ください。

エンジンの停止

警告	
 	<p>燃料とその蒸気は、可燃性が高く爆発性が高いです。常に最大の注意を払って燃料を取り扱ってください。</p> <p>これらの安全指示を守らない場合は、火災または爆発を起こすことがあり、ひどい火傷または死に</p>
<p>・エンジンを停止するためにチョークを使用しないで下さい。</p>	

- 1、ON/OFFキー (Fig2:A) をOFF位置に回してください。もし装備されていれば、PUSH/PULLキーを抜いてください。
- 2、キーは子供の手が届かない安全な場所に保管してください。エンジンはキー無しでは始動できません。

運転

除雪機の操作

⚠ 危険	
	回転部分から手、足、衣服から離してください。回転部分は、手、足、髪、衣服、または付属品と接触すると巻き込まれることがあります。
	これらの安全性に関する指示に従わない場合、外傷性切断または重度の裂傷になります。
<p>排出シュートは投雪するために回転するインペラーが装備されています。決して手などで排出シュートの詰まりを除去しないで下さい。指などは容易に巻き込まれてしまうことがあります。詰まった雪などを除去するには除雪用の工具を使用してください。</p>	

⚠ 警告	
	雪などの物体はオーガーにより除雪機内に取り込まれ排出シュートより排出されます。除雪機より排出される雪を周りの人などに向かって決して排出しないで下さい。これらの安全な指示事項を守らないと、死または重症となることがあります。
<ul style="list-style-type: none"> 常に雪が排出される方向に注意を払ってください。 コレクターハウジングの高さを調整し、砂利や石を排出されないように注意してください。 	

⚠ 警告	
	<p>除雪機を運転している間は子供が周りにいないか常に注意を払ってください。除雪機や運転している状態は子供達の興味をひきます。子供たちは常に同じ場所にいないので絶えず注意を払ってください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 除雪機を使用するエリアから子供達がいないことを確認してください。 子供などが作業エリアに入ってきた場合は、警告を与えとともに除雪機を停止してください。 	

- 1、エンジンが始動したら数分間暖機運転を行ってください。「エンジンの始動」項を参照してください。
- 2、排出シュートの向きとデфлекターを適切な位置に調整してください。「排出シュートとデфлекタ」項を参照してください。
- 3、オーガーコントロール (Fig4.5C) を引っ張りオーガーを接続してください。
- 4、除雪作業が終了したらオーガーコントロールレバーを離してください。
- 5、エンジンを停止する前に1分間運転してから停止してください。「エンジンの停止」項を参照ください。

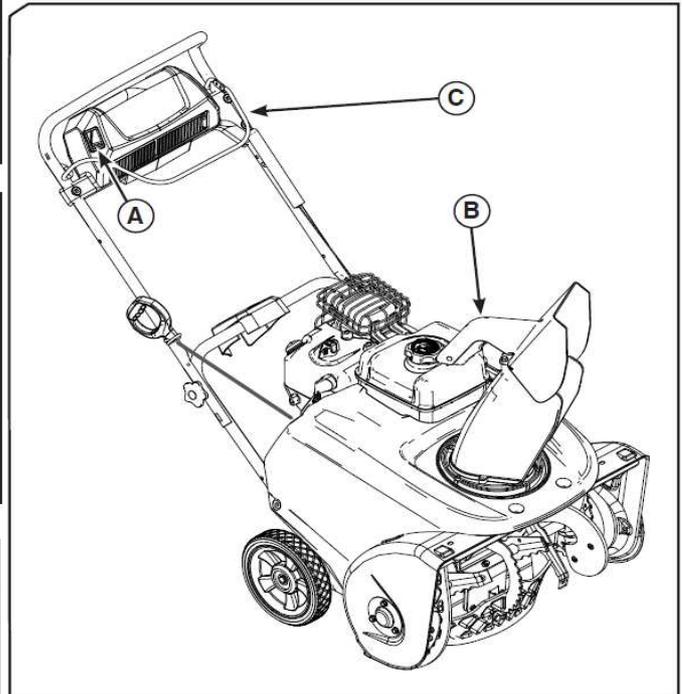


Figure 4

運転

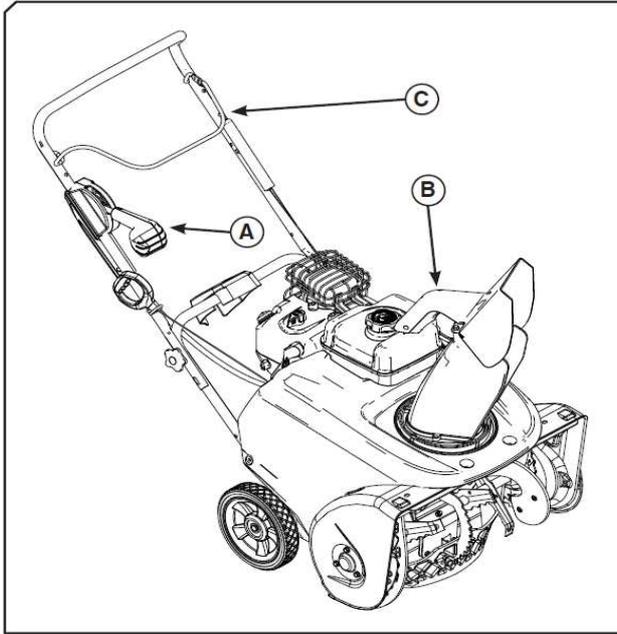


Figure 5

- 1、除雪機を始動させ数秒間オーガークントロールを操作してください。(Fig 4、Fig 5 : C)
- 2、オーガークントロールの接続を切ってください。
- 3、オーガークントロールの接続を切ったら5秒以内に停止しなければなりません。もし停止しない場合は下記の点を確認してください。
 - a、コントロールケーブルを調整してください。
 - b、もしケーブルを調整してもオーガーが5秒以内に停止しない場合は販売店に連絡してください。

排出シュートとデфлекター

排出シュートの回転 - スイッチマウント (装備されている場合)

- 1、排出シュート回転ボタンを押す。(Fig 4:A)
- 2、適切な位置でボタンから指を離してください。

排出シュートの回転 - ハンドルマウント (装備されている場合)

- 1、排出シュートコントロールハンドルを握り、ボタンを押してください。(Fig5:A)
- 2、排出シュートコントロールハンドルを前方へ押したり後方へ引くなどして排出シュートを回転させてください。
- 3、適切な位置でボタンから指を外し排出シュートの位置を固定してください。

注：これらの操作を行うときに過大な力がかからないように注意してください。

デфлекターの調整

- 1、デфлекターコントロールハンドルを握り、ボタンを押してください。(Fig4:B, Fig5:B)
- 2、デфлекターコントロールハンドルを上下に動かし雪の高さと距離を調整してください。
- 3、適切な位置でボタンから指を外しデфлекターの位置を固定してください。

排出シュートの詰まりの除去

除雪機の安全確認

⚠ 危険	
	<p>回転部分から手、足、衣服から離してください。回転部分は、手、足、髪、衣服、または付属品と接触すると巻き込まれることがあります。</p>
	<p>これらの安全性に関する指示に従わない場合、外傷性切断または重度の裂傷になります。</p>
<p>排出シュートは投雪するために回転するインペラーが装備されています。決して手などで排出シュートの詰まりを除去をしないで下さい。指などは容易に巻き込まれてしまうことがあります。詰まった雪などを除去するには除雪用の工具を使用してください。</p>	

⚠ 危険	
	<p>排出シュートは投雪するために回転するインペラーが装備されています。決して手などで排出シュートの詰まりを除去をしないで下さい。指などは容易に巻き込まれてしまうことがあります。詰まった雪などを除去するには除雪用の工具を使用してください。</p>
<p>これらの安全に関する指示に従わない場合、外傷性切断または重度の裂傷になります。</p>	

1、エンジンを停止する！

- 2、インペラーブレードの回転が停止していることを確認してください。
- 3、クリーンアウトツールを使用して排出シュートから雪を除去してください。絶対に手で排出シュートの詰まりを除去しないで下さい。

メンテナンス

メンテナンスのスケジュール

最初の5時間
オイル交換
使用する前（毎回）
エンジンオイル量の確認
安全性の確認
スクレパーとオーガーラバーの摩耗の点検
使用した後（毎回）
各部コントロール、ホイール、排出シュート、オーガーに付着した
25時間毎
各部の部品、ボルト類の緩み確認
オーガーコントロールケーブルの調整確認
50時間毎もしくは毎年
エンジンオイルの交換
マフラーとマフラーガードの破損
毎年
点火プラグの交換
バルブクリアランスの調整 *

* エンジンの性能に問題が無い限り調整は必要ありません。調整は認定整備店で行ってください。

エミッションコントロールサービス

エミッションコントロール装置及びそれらのシステムのメンテナンス、交換もしくは修理は任意のノンロードエンジン修理業者または個別に行われてもよい。しかし、ノーチャージエミッションコント

エンジンオイルの交換

使用済みのオイルは有害な廃棄物であり、適切な方法で廃棄してください。家庭用廃棄物と一緒に廃棄しないで下さい。安全な廃棄方法またはリサイクル施設については、地方自治体、サービスセンター、または販売店に確認してください。

エンジンオイルの排出

- 1、エンジンオイルが温まった状態でエンジンを停止してください。この時、キーおよび点火プラグワイヤー(Fig A:6)を点火プラグから外してください。また、点火プラグワイヤーを点火プラグから離してください。

注：点火プラグワイヤーを取り外すためにはエンジンのスノーフードを取り外す必要があります。スパークプラグへのアクセスを参照してください。

- 2、オールドレンプラグ (Fig 7 :B)を取り外し、エンジンオイルが容易に排出できるように、適切なコンテナなどに除雪機を傾けてください。
- 3、オイルの排出が終わったら、オールドレンプラグを取り付けてください。

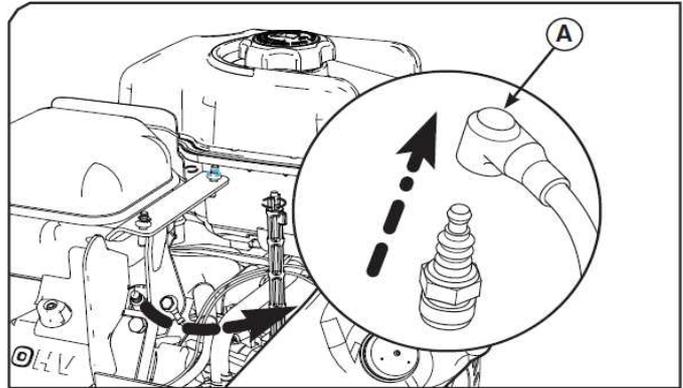


Figure 6

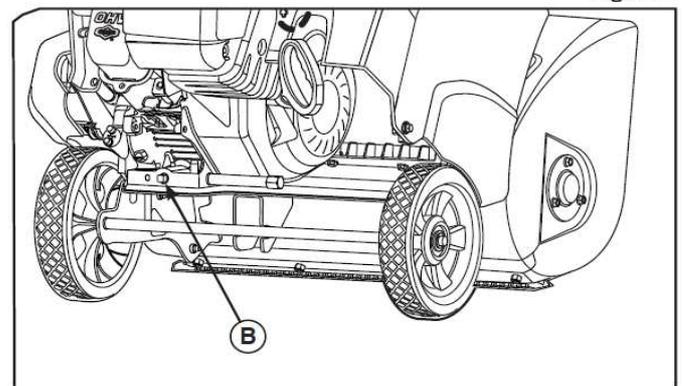


Figure 7

エンジンオイルの給油

- 1、除雪機が水平になるように確認してください。
- 2、オイルティップスティック周辺のごみなどを除去してください。
- 3、エンジン仕様でオイル量を確認してください。
- 4、オイルティップスティック (Fig 1:A)を取り外し、清潔な布などで拭いてください。
- 5、エンジンオイル給油口からゆっくりとエンジンオイルを給油してください。
- 6、オイルティップスティックを取り付け時計方向に回して締め付け、1分間放置してください。
- 7、オイルティップスティックを取り外し、エンジンオイル量を確認してください。
- 8、エンジンオイルティップスティックのFULLマーク (C)になるようにエンジンオイルを給油してください。決してオイルを入れすぎないで下さい。
- 9、エンジンオイルティップスティックを確実に取り付けてください。

メンテナンス

コントロールケーブルの調整



警告

オーガーはオーガー作動レバーを離して5秒以内に停止しなければなりません。もし、コントロールケーブルを調整しても5秒以内にオーガーが停止しない場合は、下記の「調整」項を参照してコントロールケーブルを調整するか、販売

検査

1、オーガーはオーガーレバーを操作しているときだけ作動しなければなりません。また、オーガーレバーの操作を停止したら5秒以内にオーガーは停止しなければなりません。もし、オーガーがオーガーレバーを操作しても作動しない、オーガーレバーの操作を停止してもオーガーが停止しないときはコントロールケーブルの調整を行うか、販売店に連絡してください。

もし、ドライブベルトが破損したときには、販売店でベルトの交換とコントロールケーブルの交換を依頼してください。

調整

1、エンジンを停止させ、キーを抜いてください。（エンジンの停止）項を参照してください。

2、調整ループ (B) とケーブルエンドフィッティング (C) が見えるようにケーブルカバー (Fig8:A) を上部へ動かしてください。

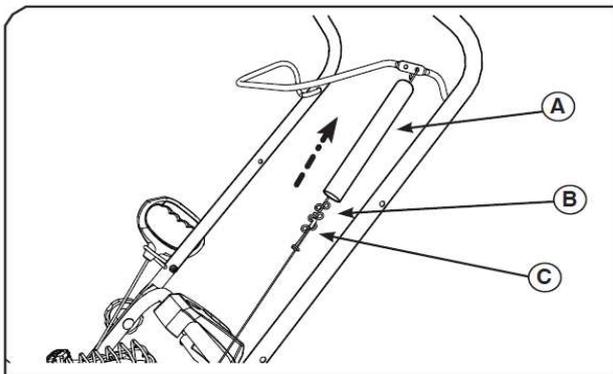


Figure 8

3、調整ループからエンドフィッティングを取り外し、下記の要領で再度組み付けを行ってください。

- もしオーガーが操作していないときに回転している時は、エンドフィッティングを一つ低いループに接続しコントロールケーブルを長くしてください。（ベルト張力を低くします。）
- もしオーガーが操作レバーを操作しても回転しない場合は、エンドフィッティングを一つ上のループに接続しコントロールケーブルを短くしてください。（ベルト張力を高くします。）

注：オーガーコントロールを操作していないときにコントロールケーブルに少し遊びを持たせてください。

- 4、ケーブルカバーをもとの位置に戻してください。
- 5、再度上記のオーガー作動の検査を行ってください。もし、まだオーガーが操作をしていないのに回転している場合や、操作をしているのに回転している場合は販売店で除雪機の点検を依頼してください。

点火プラグへのアクセス

点火プラグにアクセスするには、下記の手順でスノーフードを取り外す必要があります。

- 1、ON/OFFキー (Fig9 : A) をOFF位置にしてください。装備されている場合はPush/Pullキーを取り外してください。
- 2、チョークコントロールノブ (B) を引っ張って抜いてください。
- 3、スノーフードのノブ (C) もしくは固定スクリューを取り外してください。
- 4、スノーフード (D) を前方へ傾けてベースから浮かせてください。この時にプライマーホース (E) を外さないで下さい。またはキースイッチハーネス (F) を外さないで下さい。
- 5、点火プラグワイヤーを取り外してから点火プラグ (G) を取り外し清掃もしくは交換を行ってください。「仕様」項を参照してください。
- 6、点火プラグを取り付け、点火プラグワイヤーを取り付けてください。
- 7、プライマーホースおよびキースイッチハーネスが正しく接続されているか確認してからスノーフードをベースに正しく取り付け、固定スクリューもしくはノブで固定してください。
- 8、チョークコントロールノブをスノーフードの溝にあわせ、チョークシャフトの形状に合わせて押し込んで取り付けてください。もしチョークコントロールノブが正しく組み付けられていないとチョーク操作が正しく行われない場合があります。

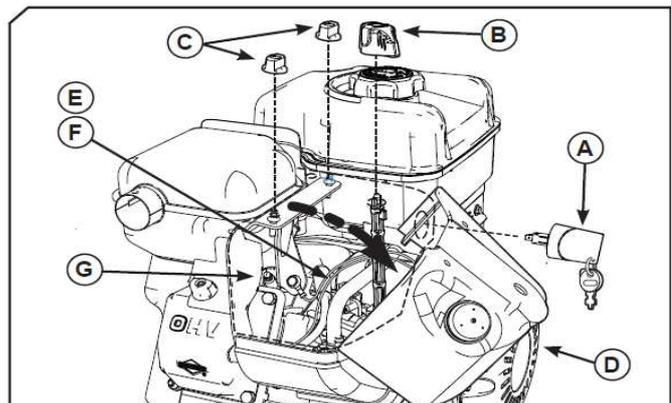


Figure 9

メンテナンス

オーガーとスクレパーのメンテナンス

毎回使用する前に、オーガーラバーが摩耗基準に以下になっていないか確認してください。また、スクレパーサポートと地面とのギャップを確認してください。

- もしラバーが摩耗基準に達していた場合は、ラバーを交換してください。販売店に連絡してください。
- もしスクレパーサポートが地面に接触していた場合は、スクレパーを交換してください。販売店に連絡してください。

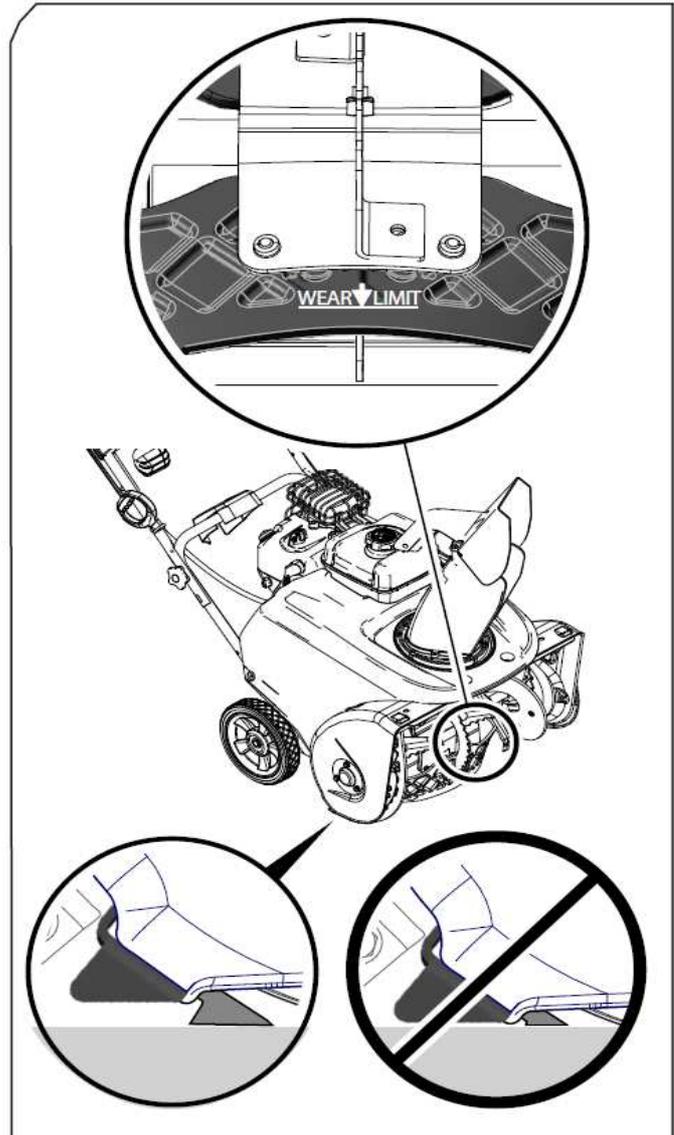


Figure 10

保管

 警告	
 	燃料とその蒸気は、可燃性が高く爆発性が高いです。常に最大限の注意を払って燃料を取り扱ってください。 これらの安全指示を守らない場合は、火災または爆発を起こすことがあり、ひどい火傷または死に
ガソリンを保管するとき、除雪機の燃料タンクに燃料を入れて保管するときは ・ガソリンは可燃性のガスを発生します。ストーブ、給湯器、その他パイロットランプを装備している製品などから遠ざけて保管してください。	

燃料システム

ガソリンは保管後30日程度で劣化します。劣化したガソリンは、酸やガム質の沈殿物がキャブレター構成部品に付着します。燃料を新鮮な状態で保管するか、Briggs & Stratton製燃料劣化防止剤を使用してください。燃料劣化防止剤はBriggs & Stratton純正部品として販売しています。

FRESH START®を燃料キャップに装備している製品では、カートリッジ内に燃料劣化防止剤が燃料に添加されます。

燃料劣化防止剤を取扱説明書通りに使用するとガソリンを抜き取る必要がありません。燃料劣化防止剤を添加されましたら、2分程度運転を行って燃料劣化防止剤が燃料システムにいきわたってから保管してください。

もし、ガソリンに燃料劣化防止剤を添加されない場合は、認証された容器にガソリンを抜き取り保管をしてください。そして、燃料が無くなりエンジンが停止するまで運転を行ってください。燃料携行缶に燃料劣化防止剤を入れることで新鮮さを保つことを推奨します。

エンジンオイル

エンジンオイルを交換するときには、エンジンが暖かいときに行ってください。「メンテナンス」項を参照ください。

保管を行う前に

- 1、除雪機をしっかりと清掃してください。
- 2、点火プラグを取り外し、清掃、キャップの調整を行ってください。必要があれば、点火プラグの交換を行ってください。
- 3、すべてのナットおよびボルトが確実に締まっていることを確認してください。
- 4、可動部分に摩耗や破損が無いか確認してください。必要があれば交換を行ってください。
- 5、操作系統、可動部分に給油を行ってください。
- 6、防錆処置のされていない金属部品に防錆油を塗布してください。
- 7、上部ハンドルを折りたたんでください。（装備されている場合）
- 8、屋内に保存する場合、乾燥した場所にカバーをかけて除雪機からストーブ、給湯器などのその他点火源となるものから離して保管してください。
- 9、屋外保管の場合は、地面より浮かし丈夫な防水シートでカバーをしてください。

作業シーズンが始まったら

- 1、上部ハンドルを作業位置へ移動させハンドルノブを確実に締め付けてください。
- 2、エンジンオイルティップスティックを抜き取りエンジンオイル量を確認してください。もし、必要があればFULL位置までオイルを追加してください。オイルの入れ過ぎには注意してください。
- 3、燃料タンクに新鮮なガソリンを入れてください。
- 4、すべてのガード、シールド、カバーなどが適切な位置にあることを確認し、しっかりと固定されていることを確認してください。

トラブルシューティング

不具合	原因	対策
オーガーコントロールから手を放	コントロールケーブルの調整不良	コントロールケーブルを調整してください。改善しないときは販売店に連絡してください。
オーガーが作動しない	コントロールケーブルの調整不良	コントロールケーブルを調整してください。改善しないときは販売店に連絡してください。
排出シュート、デフレクター調整	ファスナーの過締め付けによるハンドルマウントコントロールの破損	販売店に連絡してください。
	排出シュートもしくはデフレクター	排出シュート、デフレクターから雪もしくは氷を除去してください。除雪機を雪や氷が解けるまで暖かい場所に保管してください。
エンジンが始動しない	キーを取り付けていない	鍵を挿入しON位置にしてください。またはPush/Pullキーを挿入してください。
	プライマーを使用していない	スターターロープを引く前にプライマーボタンを2度押してください。
	燃料が入っていない	燃料タンクに新鮮な燃料を入れてください。
	チョークを使用していない	スターターロープを引く前にチョークコントロールを閉位置にしてください。
	オーバーフロー	チョークコントロールを開位置にしてスターターロープを何度か引いてください。
	点火しない	点火プラグワイヤーが装着されているか確認してください。点火プラグを交換してください。
	燃料に水混入もしくは劣化燃料の使用	燃料タンクから燃料を抜き取り、新鮮な燃料を入れてください。
	電源コードの接続不良、サーキットブレーカーの作動	電源コードを挿入もしくは破損した電源コードを交換してください。サーキットブレーカーをリセットしてください。
エンジンが始動し難い もしくは	不適切なオイルの使用	エンジンオイルを低粘度（5W-30等）に交換してください。
	プラグの汚れ、摩耗、ギャップ不良	点火プラグを清掃、ギャップ調整を行ってください。点火プラグを交換してください。販売店に連絡してください。
	チョークコントロール調整不良	エンジンが温まったらチョークコントロールを開位置にしてください。
振動が大きい	部品の緩みもしくは部品の破損	迅速に除雪機を停止してください。販売店に連絡してください。
スクレパーバーがきれいに表面を除雪できない	スクレパーの摩耗	スクレパーバーを交換してください。販売店に連絡してください。
雪が飛ばない	コントロールケーブルの調整不良	コントロールケーブルを調整してください。「メンテナンス」項を参照もしくは、販売店へケーブルの調整を依頼してください。
	ドライブベルトの摩耗、破損	販売店へベルトの交換を依頼してください。
	排出シュートの雪詰まり	エンジンを停止し、オーガーが回転していないか確認してください。クリーンアウトツールを使用して排出シュート内の雪を除去してください。絶対に手で排出シュート内の詰まりを除去しないで下さい。「安全な運転」項の警告を確認してください。
走行できない	オーガーラバーの摩耗、破損	オーガーラバーを交換してください。販売店へ連絡してください。

仕様

エンジンブランド	Briggs & Stratton
エンジンモデルシリーズ	Snow Series
エンジンタイプ	空冷4サイクルガソリンエンジン
始動方法	リコイルスタート、電動スターター
オイル容量	0.59L (20oz)
燃料タンク容量	2.8L (3.0qt)
スパークプラグギャップ	0.76mm (.030in)
スパークプラグ締め付けトルク	20Nm (180lb-in)

